

平成23年度新湊高校同窓会総会・親睦会

新湊高同窓会総会は4月29日、第一イン新湊で94人が出席して開かれた。

網谷晋常任幹事の司会で、八嶋健三会長は「大震災で絆の大切さが語られている。家族、社会、この同窓会もそのひとつ」と挨拶。高井一三校長は「校舎の耐震工事は完了したが、津波が来たら生徒のほか地域の方をどう守るかを話し合った」と挨拶した。



矢野亮一幹事を議長に、山田千秋事務局が諸報告を説明、菊丸子監査が監査報告した。これまで10年間隔で発刊していた会員名簿は正確を期すため5年更新とすることとなった。役員改選で長年務めた八嶋美智代、奥野忠正、江守正副会長、菊監査、田谷宣正常任幹事が退任。新副会長に四方正治、尾山春枝、中野清志の3氏、監査に牛塚松男、木谷泰子の両氏を選任した。



関東支部の卯尾田雄一支部長が毎年繰越金が目減りしている窮状を訴え、今年度から本部より8万円の運営費が支給されることとなった。

懇親会は牛塚松男監査の進行で、四方正治、海老克昌両県議が祝辞、加治秀夫副会長の乾杯発声で懇談した。



この日高岡カントリーで「射中・新高OBゴルフ大会」が開かれ、48人がプレーを楽しんだ。